

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164090	6次産業化推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,690	1,302		-1,388
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	125	0		-125
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,565	1,302		-1,263

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

地域づくりへの参加を促進する

事業開始の背景・経緯

・平成26年6月に閣議決定された日本再興戦略（改訂2014）においては、6次産業の市場規模を現状の1兆円から2020年までに10兆円にするとの目標を掲げている。市としても、地域活性化を図るため、農業・農村の6次産業化を総合的に支援する必要がある。

事業概要

6次産業化セミナー・個別相談会の開催 165千円  
 6次産業化実践者及び志向者を対象としたセミナー・個別相談会の開催  
 農商工連携推進 1,137千円  
 新たな加工品開発等にかかる農商工連携事業補助金の交付等

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山 夕子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

受講者からは繰り返し学ばないと実践につながっていかないなどの意見がある。また、個別課題に関して専門家からのご意見を伺う機会は必要のため個別相談会を継続してほしいという意見がある。

事業手法の詳細1

6次産業化推進事業 R3 1,302千円（R2 2,690千円、前年度比 1,388千円）

1. 6次産業化セミナー・個別相談会の開催 165千円（ 85千円）  
 6次産業化の取り組みの段階に応じた支援を行うため、生産・商品開発・加工から販路開拓・経営までのテーマ別にセミナーを4回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の観点から参加者の健康と安全を第一に考え中止とした。  
 市の施設利用制限ガイドラインが、ステージ3から4となり、予定していた会場が休館となったことを受けて、課内で開催の有無を協議。一端はオンライン開催や延期の方向を検討したが、若手県内での新型コロナウイルス感染者数が過去最大となったことを受けて、会場となる施設の利用がいつから利用できるのか、市の施設利用制限ガイドラインの緩和の見通しが立たないこと、参加者が高齢のためパソコン利用に慣れていないことを理由に、中止の判断に至った。既に2名の講師からはテキストを授受していたため、テキスト作成に係る費用のみを支払い。

2. 農商工連携推進 1,137千円（ 1,303千円）

農商工連携事業補助金 1,137千円  
 花巻産の農畜産物を活用し、加工品開発、加工施設整備に要する経費を助成する。  
 ア.加工品開発 補助率：2分の1、補助額上限200万円 実績1件

（継続して事業実施する場合は、一年度内1回とし、連続する3年度内の3回までとする。）  
 イ.加工施設・機械整備 補助率：3分の1、補助額上限100万円 実績2件

食品商談会同行旅費 0千円  
 農商工連携補助金の活用や市の伴走支援により事業者が開発した6次産業化商品の販路開拓を支援するため、事業者が参加する首都圏での商談会等に同行するものだが、商談会自体が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164360	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		13,151	11,512		-1,639
財源内訳	国費	6,576	0		-6,576
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	6,000	9,000		3,000
	一般財源	575	2,512		1,937

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

地域づくりへの参加を促進する
----------------

事業開始の背景・経緯

・平成28年11月29日に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農業者等による果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化、市外からの移住を含めた新たな担い手の確保が期待される。

事業概要

いわてワインヒルズ推進協議会負担金等 50千円  
 構成団体負担金、先進地視察旅費  
 ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 7,046千円  
 醸造技術習得支援事業補助金、セミナー開催、ワイナリー整備等事業補助金  
 花巻ワイン飲食店活用プロモーションイベント開催 4,416千円  
 首都圏でのワインプロモーションイベントの開催  
 花巻ワインPRイベント開催 0千円  
 宮沢賢治童話村でのワインプロモーション  
 ワインツーリズム 0千円  
 ワークショップの開催、ワインツーリズムの企画・実施

担当部署	05200000 地域振興部 定住推進	担当課長	畠山 タ子
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業 11,512千円
- いわてワインヒルズ推進協議会 50千円  
 平成29年6月6日、ワインを核とした産業の振興と地域の活性化を図ることを目的として、岩手県や県内ワイナリー、関係市町村等で構成される「いわてワインヒルズ推進協議会」が設立。  
 本市からは㈱エーデルワイン、高橋葡萄園、(合)亀ヶ森醸造所、アールペイザンワイナリーの4ワイナリーが参加。  
 (1) 構成団体負担金 50千円  
 (2) 視察先旅費 中止 0千円
  - ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 7,046千円  
 (1) 醸造研修受け入れ支援 対象事業者なし。実績 0千円  
 (補助金1日当たり5,000円)  
 (2) 醸造技術・ワイナリー経営セミナーの開催 謝礼等 0千円  
 構造改革特別地域計画「花巻クラフトワイン・シードル特区」に掲げている特区活用事業者を確保・育成するため、いわてワイン生産アカデミー修了者やワイナリー設立を目指す移住希望者等を対象とした醸造技術やワイナリーの経営計画に関するセミナー・ワークショップを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止。  
 (3) ワイナリー整備等事業費補助金 7,046千円  
 平成28年11月の構造改革特別区域計画「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を機に、果実酒製造の新規参入希望者のワイナリーの整備等に対する支援を行う。  
 商品開発・販路開拓 2件 400千円  
 ワイナリー整備・醸造設備導入 2件 6,646千円
  - 花巻ワイン飲食店活用プロモーションイベントの開催 4,416千円  
 ・ワイン消費量の多い首都圏での販路開拓と、花巻ワインの認知度向上のため、首都圏等での飲食店において花巻ワインフェアを開催。また、オンラインを通じてWEB展示会の実施を行うなどWEB上で花巻4ワイナリーのプロモーションを展開。  
 (1) 花巻ワイン飲食店活用プロモーションイベント開催業務委託 4,356千円  
 (2) イベント職員旅費 60千円
  - 花巻ワインPRイベントの開催 0千円(新規) 中止  
 ・東北管内、岩手県内及び市内向けに花巻産ワインの認知度向上やワインファンの人口増加を目的に宮沢賢治童話村で花巻産ワインをPRする。
  - ワインツーリズム 0千円(増減なし) 中止  
 ワイン産地としての認知度を高め、交流人口の増加を図るため、本市におけるワインツーリズムの取り組み方について、市内関係者を巻き込んだワークショップを通じて検討を行う。  
 また、その結果を踏まえたワインツーリズムを企画・実施する。  
 将来的には、地域のプレイヤーを巻き込むことで、ワインツーリズムのノウハウを活用した新たな地域ビジネスを創出することを目指す。